



Cisco SD-WAN セルフサービスポータル

- [Cisco SD-WAN セルフサービスポータルの概要 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco SD-WAN セルフサービスポータルの前提条件 \(2 ページ\)](#)
- [Cisco SD-WAN セルフサービスポータルの利点 \(2 ページ\)](#)
- [スマートアカウントとバーチャルアカウント \(3 ページ\)](#)
- [PCI DSS 認定 \(4 ページ\)](#)

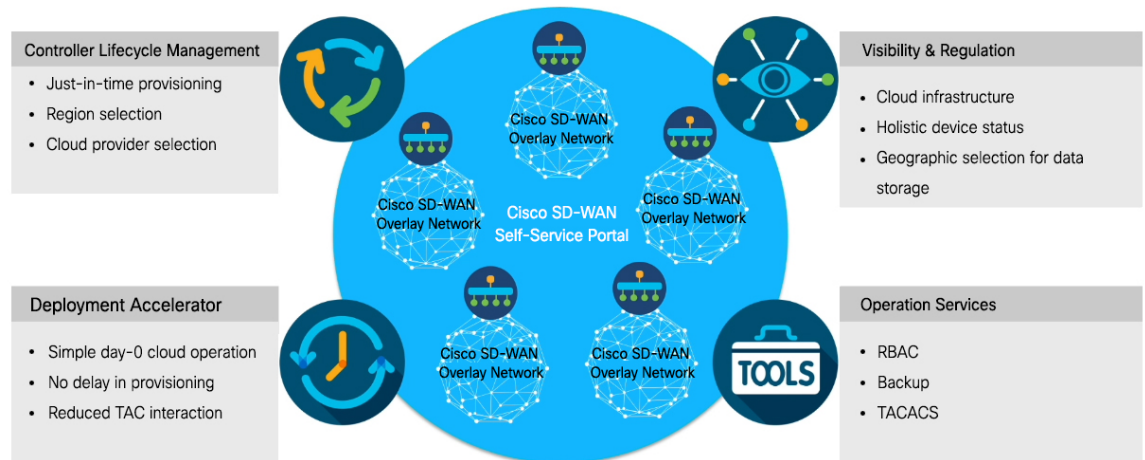
Cisco SD-WAN セルフサービスポータルの概要

Cisco SD-WAN セルフサービスポータルは、Cisco SD-WAN に適したクラウドインフラストラクチャ自動化ツールであり、パブリッククラウドプロバイダーで Cisco SD-WAN コントローラをプロビジョニング、モニター、および保守するための迅速な方法を提供します。

Cisco SD-WAN セルフサービスポータルを使用して、次のコントローラをプロビジョニングできます：

- Cisco vManage
- Cisco vBond オーケストレーション
- Cisco vSmart コントローラ

図 1: Cisco SD-WAN セルフサービスポータルの利点と運用



アイデンティティプロバイダー（IdP）を使用してポータルアクセスの多要素認証（MFA）を有効にするように Cisco SD-WAN セルフサービスポータルを設定できます。シングルサインオン（SSO）を使用して、任意のユーザーを任意のデバイスの任意のアプリケーションに接続できる IdP を使用するように Cisco SD-WAN セルフサービスポータルを設定できます。

対象読者

このドキュメントは、サービスプロバイダー、パートナー、その他のエンドユーザーなどのシスコのお客様を対象としています。

Cisco SD-WAN セルフサービスポータルの前提条件

- Cisco Commerce Workspace で Cisco DNA サブスクリプションを購入します。
<https://apps.cisco.com/Commerce/home>
- 既存のスマートアカウントを作成または使用します。
- スマートアカウントに関連付けられたバーチャルアカウントを作成します。
- Cisco プラグアンドプレイ（PnP）Connect ポータルでデバイスのシリアル番号を追加します。

詳細に関しては、「[Cisco Network Plug and Play Connect Capability Overview](#)」 [英語] を参照してください。

Cisco SD-WAN セルフサービスポータルの利点

- インスタンスの CPU 使用率などの重要な統計情報を可視化します。

- Cisco SD-WAN オーバーレイネットワークをリアルタイムで監視する上で集中型ダッシュボードを提供します。
- ワークフロー内の適切なタスクに簡単に移動するためのウィザード駆動のユーザーインターフェイスが含まれています。
- プライマリおよびセカンダリデータストレージの地理的位置を指定するためのオプションをクラウドプロバイダーに提供します。
- 多要素認証 (MFA) での SSO に IdP を使用したセキュアログインをサポートします。
- ロールベース アクセス コントロール (RBAC) をサポートします。
- オーバーレイへのオンプレミス TACACS サーバー接続用のカスタムサブネットを使用した新しいオーバーレイネットワークのプロビジョニングをサポートします。

スマートアカウントとバーチャルアカウント

スマートアカウントには、組織が購入したライセンスが含まれます。スマートアカウントは、購入したソフトウェア資産、登録、ソフトウェア使用の報告を表示、および組織全体のライセンス管理を行うことができる中央リポジトリです。

Cisco SD-WAN セルフサービスポータルについて、シスコは Cisco SD-WAN セルフサービスポータルにスマートアカウント管理者へアクセスする権限を付与しました。スマートアカウント管理者は、コントローラの IP アドレスの表示やコントローラの IP アクセスリストの変更など、顧客のホスト型コントローラインフラストラクチャに関連する運用タスクを表示および実行できます。このアクセスを特定のユーザに付与しない場合は、[Cisco Software Central](#) の [Manage Smart Account] セクションに移動し、それらのユーザをスマートアカウント管理者から削除するか、IDP (ID プロバイダー) オンボーディング機能を使用して、Cisco SD-WAN セルフサービスポータルへのアクセスを IDP の信頼できるユーザに基づいて付与してください。

詳細については、「[コントローラをプロビジョニングするためのスマートアカウントとバーチャルアカウントのワークフロー](#)」を参照してください。

バーチャルアカウントは、スマートアカウント内のサブアカウントです。バーチャルアカウントを使用すると、ビジネスにとって論理的な方法でシスコの資産を整理できます。部門、製品、地域、またはその他の指定別に会社のビジネスモデルに最適なバーチャルアカウントを設定できます。

デフォルトのバーチャルアカウントが作成されます。Cisco SD-WAN オーバーレイを作成するための専用のバーチャルアカウントを作成することをお勧めします。

詳細については、「[スマートアカウントに関連付けられたバーチャルアカウントの作成](#)」を参照してください。

Cisco SD-WAN コントローラをプロビジョニングするには、SD-WAN 対応の製品属性にバーチャルアカウントを関連付ける必要があります。SD-WAN 対応属性は、Cisco DNA クラウドライセンスの注文時にバーチャルアカウントに関連付けられます。



- (注) エンタープライズ アグリーメントを使用して Cisco DNA ライセンスを注文する場合、SD-WAN 対応属性へのバーチャルアカウントの自動関連付けは使用できません。Cisco CloudOps チームがコントローラをプロビジョニングするには、エンタープライズ アグリーメントワークスペースを介してクラウドコントローラのプロビジョニング要求フォームを送信する必要があります。Cisco SD-WAN テクニカルサポートに連絡して、目的のバーチャルアカウントを Cisco SD-WAN セルフサービスポータルで使用できるように依頼してください。目的のバーチャルアカウントが Cisco SD-WAN セルフサービスポータルで使用可能になったら、必要なエンタープライズ アグリーメント契約情報を提供した後で、コントローラをプロビジョニングできます。

PCI DSS 認定

表 1: 機能の履歴

機能名	リリース情報	説明
Cisco SD-WAN オーバーレイネットワークにおける PCI DSS レベル 1 認定のサポート	2022 年 2 月リリース	この機能により、Cisco SD-WAN オーバーレイネットワークに対してクレジットカードデータ保護基準 (PCI DSS) レベル 1 認定が提供されます。決済カード業界 (PCI) コンプライアンスは、カード所有者データのデータ漏洩から Cisco SD-WAN オーバーレイネットワークを保護します。

PCI DSS 認定に関する情報

PCI DSSとは、クレジットカード情報を受信、処理、保存、転送するすべての企業が安全性の高い環境を維持できるように設計された業界の情報セキュリティ規格です。詳細については、PCI セキュリティ規格審議会の Web サイトを参照してください。

クレジットカード情報を扱う企業は、機密性の高い金融データが盗まれる可能性を減らす安全性の高い方法でデータを維持する必要があります。加盟店がクレジットカード情報を安全に処理できないと、そのデータが侵害され、不正な購入に使用される可能性があります。さらに、カード所有者に関する機密情報は、ID 詐欺で使用される可能性があります。

Cisco SD-WAN は、カード所有者データを直接保存または処理しませんが、Cisco SD-WAN はクラウド サービス プロバイダー (CSP) と見なされます。

Cisco SD-WAN ソフトウェア コントローラ バージョン 20.6.1 では、Cisco SD-WAN ソリューションは PCI DSS レベル 1 のサービスプロバイダーとして認定されています。



- (注) Cisco SD-WAN ソフトウェア コントローラ バージョン 20.6.1 にアップグレードしても、PCI 認定を受けているということにはなりません。Cisco SD-WAN 認定ソフトウェア コントローラ バージョン 20.6.1 を購入する必要があります。Cisco vManage リリース 20.6.1 とともにリリースされた認定 Cisco SD-WAN ソフトウェア コントローラのみが PCI 認定を受けています。

Cisco SD-WAN コントローラ ソフトウェア バージョン 20.6.1 の PCI DDS 認定は、ネットワークに Cisco SD-WAN ソリューションを持ち、以前に PCI DDS に準拠していると認定されていた既存のお客様には影響しません。ネットワークの PCI DDS 認定を取得を希望する新規のお客様は、Cisco SD-WAN 認定ソフトウェア コントローラ バージョン 20.6.1 を購入することをお勧めします。

Cisco SD-WAN ソリューションには、PCI DSS 要件に沿ったセキュリティ制御が含まれています。シスコのお客様の多くは、Cisco SD-WAN をネットワークにおける不可欠な部分として使用することで、PCI DSS 認定バージョン 3.2.1 を取得しています。

クラウドコントローラの PCI DSS 認定に関してご質問がある場合は、Cisco SD-WAN テクニカルサポートにお問い合わせください。

PCI DSS 認定の前提条件

- PCI 認定オーバーレイは、クラウドの導入にのみ適用されます。
- クラウドプロバイダーとして Amazon Web Services (AWS) を使用していることを確認します。
- Cisco vManage リリース 20.6.1 または他の後続の延長サポートリリースを使用していることを確認します。標準サポートリリースを含む他のリリースバージョンは、PCI DSS 認定を受けていません。

延長サポートリリースの詳細については、「[16.x.x 以降の Cisco IOS ソフトウェアリリースの Cisco IOS XE ソフトウェア サポート タイムライン](#)」を参照してください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。